

ネオアクシス、IBM iで「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP手順・広域IP網）」
の利用を可能にする『Toolbox 全銀TLS+』の提供を開始

TIS インテックグループのネオアクシス株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：山本修司、以下 ネオアクシス）は、日本アイ・ビー・エム株式会社の IBM Power Systems（以下 IBM i）で全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網、以下 全銀 TCP/IP 手順・広域 IP 網）※1 の利用を可能にするインターネット EDI ツール『Toolbox 全銀 TLS+』の提供を開始したことを発表します。

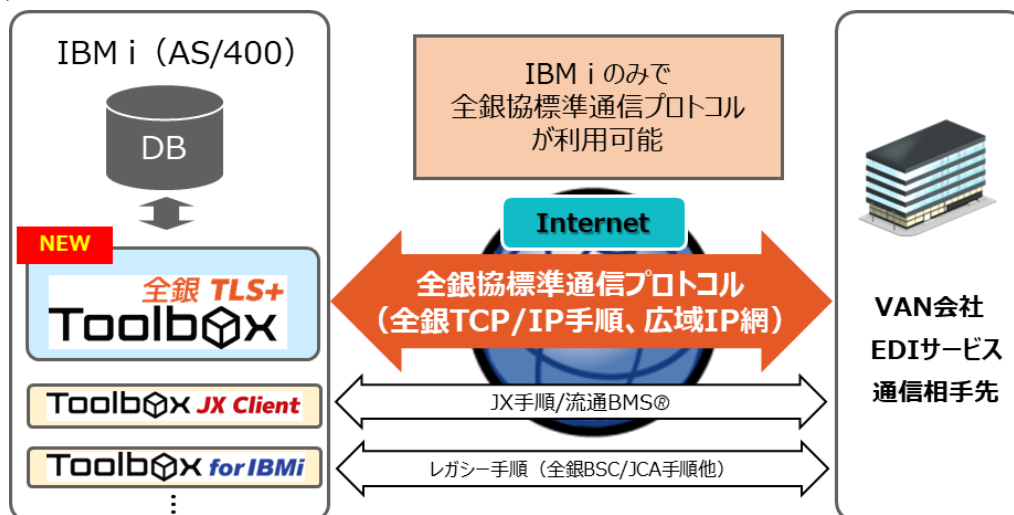
ネオアクシスは、IBM i の保守/運用/EDI のツール「Toolbox for IBM i /Toolbox for System i5（以下 Toolbox）」を提供し、累計 4,000 社以上の企業の EDI 環境をサポートしてきました。

今回提供開始する「Toolbox 全銀 TLS+」は、2023 年 12 月末に予定されている全銀ベーシック手順、及び全銀 TCP/IP 手順のサポート終了に伴い制定された「全銀 TCP/IP 手順・広域 IP 網」を、IBM i 上での送受信を可能とするものです。IBM i を利用する企業は「Toolbox 全銀 TLS+」を活用することで、新たに EDI サーバなどの構築が不要で、IBM i 上から「全銀 TCP/IP 手順・広域 IP 網」が利用可能となります。

ネオアクシスは、INS ネットデジタル通信モードからインターネット EDI への対応が必要な企業を対象に本製品を販売し、5 年間で 300 本の販売を目標としています。

※1：全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）については、一般社団法人全国銀行協会 Web サイトでご確認ください。
「広域 IP 網をベースとした「全銀協標準通信プロトコル（TCP/IP 手順・広域 IP 網）」の制定について」
<https://www.zenginkyo.or.jp/news/2017/n8115/>

■製品導入イメージ



■背景

モバイル・ブロードバンドの進展によるコミュニケーション手段の多様化に伴い、固定電話（加入電話・INS ネット）の契約数が減少し、電話サービスのために用いられている公衆交換電話網（PSTN）の設備（中継交換機・信号交換機）が2025年頃に維持限界を迎えると予想されています。これによりNTT東日本ならびにNTT西日本では、2024年1月以降に固定電話（加入電話・INS ネット）の設備の切替（IP網への移行）を行うことと、INS ネットデジタル通信モードのサービスを終了することを公表しています。

このサービス終了に伴い、一般社団法人全国銀行協会では、全銀ベーシック手順、全銀TCP/IP手順について2023年12月末をもってサポート終了し、インターネットをベースとした新たな全銀プロトコルである「全銀TCP/IP手順・広域IP網」を制定したことを発表しました。

そのため、全銀ベーシック手順、全銀TCP/IP手順などの「レガシー手順」から「全銀TCP/IP手順・広域IP網」などのインターネットEDIへ移行が必要となります。

しかし、IBM i上では全銀TCP/IP手順・広域IP網に対応できるソリューションがなく、この通信手順の利用を可能にするため、ネオアクシスでは、IBM i上で「全銀TCP/IP手順・広域IP網」の送受信が可能となる「Toolbox 全銀TLS+」を開発し提供します。

■「Toolbox 全銀TLS+」の特長

1) 新たなEDIサーバの構築が不要

通常、IBM iから「全銀TCP/IP手順・広域IP網」の通信を行う場合、EDIサーバや専用通信機器等を構築し、IBM iとEDIサーバや専用通信機器の双方でデータの送受信管理が必要です。

「Toolbox 全銀TLS+」を導入することで、新たなEDIサーバや専用通信機器を介さず、IBM i上で「全銀TCP/IP手順・広域IP網」の通信が可能となります。

また、IBM iのみでEDIの運用ができるため、Toolboxを使ったレガシー手順（全銀ベーシック手順、全銀TCP/IP手順、JCA手順）の操作と同様の運用が可能です。

2) 全銀ベーシック手順、全銀TCP/IP手順から全銀TCP/IP手順・広域IP網への移行が容易

同じIBM i上で、レガシー手順に対応した「Toolbox for IBM i」と「Toolbox 全銀TLS+」の共存が可能です。全銀手順のデータフォーマットを活用できるため、全銀ベーシック手順及び全銀TCP/IP手順から全銀TCP/IP手順・広域IP網への移行は、IBM i上で通信定義の変更を行うだけで容易に対応ができます。

また、「Toolbox for IBM i」と同様に、発呼（Aセンター）、着呼（Bセンター）とも対応しています。

■価格

P05(最小構成) ¥540,000～

※CPUグレードによる価格体系です。

※LPARごとにライセンスが必要です。

「Toolbox 全銀 TLS+」の詳細は、下記をご参照ください。

<https://www.neoaxis.co.jp/product/platform/ibm-powersystems/toolbox/toolbox-tls/index.html>

【Toolbox について】

Toolbox は、IBM i で稼働する「保守／運用ツール製品」で、日本 IBM 社が「TOOLBOX/400」として販売していた製品を、ネオアクシスが、2006 年より販売及び製品保守を継承しています。ファイル操作やドキュメント管理機能等、多彩な機能を持っていますが、特に EDI コマンドは、IBM i での標準的なツールとして多くのお客様にご利用頂いています。

ネオアクシスでは、2006 年以降、累計 4,000 社以上への導入実績があります。

【ネオアクシス株式会社について】

ネオアクシスは、TIS インテックグループにおけるソリューションサービスの一翼を担う IT ソリューションカンパニーです。単にソリューションやシステムの構築・運用のご提供だけでなく、企業活動を支える重要な要素である IT システムをより効果的に利活用できるよう、IT システムに関わる豊富な実績・ノウハウを活かしつつ、常に新しい価値の提供を目指しています。

ネオアクシスは、「働き方改革推進カンパニー」として、基幹業務システムやコラボレーション基盤などの IT システム通して、企業活動の効率化・生産性向上など、お客様の「働き方改革」をご支援します。

詳しくは、<http://www.neoaxis.co.jp/> をご覧ください。

【TIS インテックグループについて】

TIS インテックグループはグループ会社 44 社、約 2 万人が一体となって、それぞれの強みを活かし、日本国内および海外の金融・製造・サービス・公共など多くのお客さまのビジネスを支える IT サービスをご提供します。

詳しくは、<https://www.tis.co.jp/group/index.html> をご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

■報道関係からのお問い合わせ先

ネオアクシス株式会社

経営管理部長 佐藤

Tel : 03-5330-5870 E-mail : info@neoaxis.co.jp

■本製品に関するお問い合わせ先

ネオアクシス株式会社

ソリューション事業部 プロダクトサービス部 南

Tel : 03-5330-8675 Fax : 03-5330-5875

- ※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。
- ※ IBM は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。
- ※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。